



ものづくりの新しいカ【タ】チ

令和3年度 鳥取大学 公開講座
カ【タ】チ共創プログラム～新しい価値と形をつくる

2021.10.28~~~12.20~~ [[全5回

2022.1.17

18:30-20:00 [[90 min/回

鳥取大学CDL or オンライン

無料

鳥取大学地域価値創造研究教育機構
鳥取大学振興協力会
明治大学商学部



カ【タ】チ共創プログラムとは[[

令和元年度「ゼロイチ・アクセラレーション・プログラム」、令和2年度「ゼロイチ・アクセラレーション・プログラム2020」の後を受け、令和3年度もリカレント教育プログラムを開催いたします。今年度は、明治大学商学部の協力を得て、カ【タ】チ共創プログラムとして生まれ変わりました。

「カ【タ】チ」とは、価値と形の両方の意味をひとつのことばに込めたものです。新しい価値を新しい形にする、これまでの価値を新たな形で表現する、新しい価値をこれまでの形に込める、こうした価値と形の様々な関係と可能性をひとつのことばで表そうとするものです。

今回は「ものづくり」をテーマに、5人の講師にそれぞれの分野の新しいカ【タ】チを話していただきます。全5回の講義を通じて、明日の地域の発展のため、共に新しい価値と形をつくりだしていくカ【タ】チ共創力の獲得を目指します。

第1回目

自動車のカ【タ】チ [経営戦略]

10.28 Thu 18:30-20:00 @オンライン開催のみ

「CASE革命とドイツ自動車産業の大転換」

ドイツで19世紀末発明されたガソリンエンジン車は、その後、米国のFord社のT型フォードによって20世紀の豊かな物質文明の象徴ともいえる存在になってきたが、今日の自動車業界は、CASE（Connected、Automated、SharingそしてElectricity）革命とも呼ばれるダイナミック・イノベーションの創発によって大きな転換期を迎えつつある。本講演では、このCASE革命と呼ばれる動向にドイツの自動車メーカー、とくにVWグループはどのような戦略的対応を図っているのかを明らかにする。

講師 [[

明治大学商学部 教授
風間 信隆



1951年生まれ。1979年、明治大学大学院商学研究科博士後期課程退学（3年間在学）。1979年、明治大学商学部助手。1990年、明治大学商学部教授、現在に至る。主要業績 単著『ドイツ的生産モデルとフレキシビリティ』（1997年、中央経済社刊）、共編著『実践に学ぶ経営学』（2018年、文眞堂）、編著『よくわかるコーポレート・ガバナンス』（2019年、ミネルヴァ書房）

司会・対話者 [[

多田 憲一郎 地域学部 教授

第2回目

食のカ【タ】チ [食の科学技術]

11.11 Thu 18:30-20:00 @現地開催
[20:00-20:30懇談会・自由参加]

「近未来の食をデザインする —植物工場とフードテックの活用—」

2030年に私たちは何を食べるのか。SDGsの目標2は「飢餓をゼロに」だが、食料問題への対応は、食のカロリー供給面に加え、機能性からみた質にも配慮しなければならない。本講演では、食料問題の解決に寄与する新しい食を支えるテクノロジーを中心に解説する。これらが消費者に受容されるための工夫についてもお話したい。



講師 [[

明治大学商学部 教授
浅賀 宏昭

明治大学商学部・大学院教養デザイン研究科教授。東京都立大学大学院博士課程修了。理学博士。東京都老人総合研究所研究員等を経て、2008年より現職。主要担当科目は「生命科学」「バイオテクノロジーとバイオビジネス」。2013年から明大植物工場基盤研究センター員。趣味はバレーボール（日本バレーボール協会公認審判員）。

司会・対話者 [[

清水 克彦 地域価値創造研究教育機構 教授

第3回目

商品のカ【タ】チ [サプライチェーン]

11.25 Thu 18:30-20:00 @現地開催
[20:00-20:30懇談会・自由参加]

「ものづくりとサプライチェーン・マネジメント」

現在、ものづくりのサプライチェーンが複数の国や地域をまたがるのが常態化しています。企業は、いつでもどこで何を作るのかを決定し、製品を各国市場へ的確に送り出せる仕組みを構築しなくてはなりません。本講座では、自動車企業とアパレル企業のケースを取り上げ、今日のサプライチェーン・マネジメントが直面している問題について考えます。

講師 [[

明治大学商学部 教授
富野 貴弘



明治大学商学部教授。1972年京都市生まれ。京都大学博士（経済学）。大学での担当科目は「生産管理論」。著書に『この1冊でわかる生産管理の基本』（日本実業出版社）、『生産システムの市場適応力：時間をめぐる競争』（同文館出版）、『日産プロダクションウェイ：もう一つのものづくり革命』（共著、有斐閣）などがある。

司会・対話者 [[

木原 奈穂子 農学部 講師

第4回目

伝統のカ【タ】チ [マーケティング]

12.10 Fri 18:30-20:00 @現地開催
[20:00-20:30懇談会・自由参加]

「畳の価値を高め、新たな市場を開拓 ～久保木畳店の挑戦」

1,000年以上にわたり日本人の生活を支えてきた畳。しかしその需要がここ25年間で8割減り、供給側である畳屋も5割が自分の代で廃業を考えていると言われています。この状況の中で新開発した畳コースターが都内の一流飲食店から注文が殺到。また、今まで0だった海外輸出も1年間で30件超。既存のモノの価値を高め、市場を開拓・創造していく実験をお話します。

講師 [[

有限会社 久保木畳店
久保木 史朗



有限会社久保木畳店専務。1987年福島県須賀川市生まれ。慶應義塾大学理工学部卒業後、東京都内の大手建設会社で7年間勤務。その後2020年1月に家業である久保木畳店に入社。畳文化を後世に残すことを使命とし、畳の新たな商品開発に取り組む。また、畳を世界へ広める夢を持って海外への販路拡大も積極的に行っている。

司会・対話者 [[

白石 秀壽 地域学部 講師

第5回目

ことばのカ【タ】チ [創造的思考]

12.20 Mon 18:30-20:00 @オンライン開催のみ
2022.1.17

「読書は誰のためにするのか」

よく「必読の書」という言い方を見聞きする。だが、具体的にはそれを唱える人によって千差万別である。つまり、専門分野の書物を除けば、万人に共通する「必読の書」など存在しないということである。それでも人は本を読む。それはなぜか。この講演では、無用の長物とも思われかねない自由な読書が精神に何をもたらすかをお話したい。

講師 [[

明治大学商学部 教授
高遠 弘美



1952年3月、長野県生まれ。現在明治大学商学部・大学院教養デザイン研究科教授。著書に『物語 パリの歴史』（講談社新書）『七世竹本住大夫』（講談社）他、翻訳に『珍説愚説辞典』（国書刊行会）ロミ『完全版 突飛なるものの歴史』（平凡社）プルースト『失われた時を求めて』（光文社古典新訳文庫、全十四巻予定。個人全訳中）、最新刊にF・ピジョン『プルーストへの扉』（白水社）があるほか著作多数を数える。

司会・対話者 [[

清水 まさ志 地域価値創造研究教育機構 准教授



詳細について

テーマ [[ものづくりの新しいカ【タ】チ

開講期間 [[2021.10.28 - ~~2021.12.20~~

2022.1.17

時間 [[18:30-20:00 1回90分

回数 [[全5回

対象 [[一般・学生

定員 [[事前登録制]] 現地20名 or オンライン視聴100名

受講料 [[無料

場所 [[鳥取大学広報センター1階
CDLコミュニティ・デザイン・ラボ
(鳥取県鳥取市湖山町南4-101)

※現地開催の回に関しても、新型コロナウイルス
感染症拡大防止のため、オンライン開催に変更する
場合があります。

主催 [[鳥取大学地域価値創造研究教育機構

共催 [[鳥取大学振興協力会

連携 [[明治大学商学部

お問い合わせ 申し込み先

鳥取大学 地域価値創造研究教育機構 地域連携推進室

Mail : koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

Tel : 0857-31-6777



お申込みはWEB上の申し込みフォームにて、氏名・所
属・連絡先(電話・メール)・現地参加かオンライン視
聴のいずれかをご連絡ください。フォームでの申し込み
が難しい場合は、メールでお問い合わせください。

